

船舶事故調査報告書

平成29年10月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年2月2日 14時50分ごろ
発生場所	長崎県対馬市美津島町芦ヶ浦漁港 対馬黒島灯台から真方位310° 2.65海里付近 (概位 北緯34° 20.8′ 東経129° 22.3′)
事故の概要	警備艇たいしゅうは、港湾調査中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年2月21日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	警備艇 たいしゅう、39トン
船舶番号、船舶所有者等	142465、内閣府
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）
負傷者	なし
損傷	プロペラ翼に曲損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、港湾調査を行うために長崎県佐須奈港を出港し、芦ヶ浦漁港を港奥へ向けて手動操舵で西行中、港奥の浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船は、近くにいた漁船により引き出されたのち、浸水等がなく航行に支障がなかったため、自力で造船所へ向かった。</p> <p>船長は、芦ヶ浦漁港の航行は初めてで、浅所の存在を知らなかった。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.7m、船尾約1.5mであった。</p>
分析	本船は、船長が芦ヶ浦漁港港奥の浅所の存在を知らなかったことから、同浅所付近を航行し、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、船長が芦ヶ浦漁港港奥の浅所の存在を知らなかったため、同浅所付近を航行し、本船が同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて航行する漁港では、地元の人に聞くなどして事前に水路調査を行うこと。